

完了後の評価個表

整理番号 3 - 1

事業名	(林業地域総合整備事業) 森林居住環境整備事業	都道府県	富山県
地区名	上市地区	事業実施主体	富山県、上市町
関係市町村	上市町	管理主体	上市町
事業実施期間	H12 ~ H16 (5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>位置等 当地区は、富山県の東部に位置し、標高2,999メートルの劔岳を主峰とする北アルプスを源として発する清流は、当地区内の早月川及び上市川に流れ、全国名水百選の「穴の谷霊水」など数々の名水を生み出すとともに、下流の都市住民にとって重要な水源となっている。</p> <p>森林の状況 当地区の森林面積は19,484ha、民有林面積は11,951haで、そのうち人工林が2,243haで18.8%を占めており、間伐等の森林整備が必要となる 齢級から 齢級の森林は943haで42.0%である。</p> <p>また、保安林として、主に水源かん養保安林に5,418ha、土砂流出防備保安林に7,921haが指定されており、適正な整備による森林の公益的機能の高度発揮が期待されている。</p> <p>当地区を整備する目的・意義 これまでに2,243haの人工林の造成がされ、森林の蓄積は着実に増加しており、適正な森林整備が求められていたが、効率的に実施するための基盤となる林道等の路網が未整備であったため、林道を開設するとともに森林の公益的機能の高度発揮を目的として、間伐等を実施した。</p> <p>都市住民を中心に国民の森林に対する要請は、多様化・高度化しており、レクリエーション活動の場、やすらぎの場等としての当地区の豊かな森林資源を有効に活用した森林の総合的な利用が求められていたことから、都市と山村の交流の促進等を図る拠点としてフォレストアメニティ施設(森林公園)の整備を実施した。また、施設で利用する生活用水は沢を水源とし、排水についても河川・湖沼へ直接排水する状況であったため、水質、水量の確保と水源地域の水質保全を図る目的で用排水施設の整備をあわせて実施した。</p> <p>(事業概要) 森林整備 下刈53ha、除間伐144ha、機能増進保育213ha 森林基幹道整備 伊折千石線 車道幅員 4.0m 開設延長 1,837m 改築・舗装延長 675m 利用区域面積 963ha 坪野逢沢線 車道幅員 4.0m 舗装延長 7,905m 利用区域面積 2,252ha 森林管理道整備 骨原線 車道幅員 3.0m 開設延長 2,711m 利用区域面積 207ha 集落林道整備 北島須山線 車道幅員 4.0m 改良・舗装延長 1,330m フォレストアメニティ(森林公園)施設整備 ふるさと劔親自然公園 運動施設、広場施設、キャンプ施設、休憩施設等 森林利用施設等用排水施設整備 ふるさと劔親自然公園 用排水施設</p> <p>総事業費 1,454,712千円 (当初総事業費 880,000千円)</p>
----------	---

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成22年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。なお、路線の追加に伴い事業計画を変更したため、総事業費が増加している。</p> <p>総便益(B) 6,611,004千円 総費用(C) 2,486,649千円 分析結果(B/C) 2.65</p>
-----------------------	---

事業効果の発現状況	<p>手入れが遅れていた森林約410haの除間伐等が実施され、森林の公益的機能が維持増進された。</p> <p>また、林道整備により、施業地までの到達時間の短縮及び施業コストの低減が図られ、事業着手前5年間の森林整備面積約47haに対し、事業完了後の5年間は約140ha(3倍)に増加した。</p> <p>林道の改良・舗装により、崩落土砂や落石の除去、路面の整正等にかかる維持管理費用の縮減が図られた。</p> <p>ふるさと劔親自然公園の年間利用者数は、上市町の人口の約半分に相当する約12,500人に上っており、山村と都市との交流施設として活用されている。</p> <p>用排水施設の整備により、良質かつ安定的に生活用水が供給されるとともに、雑排水の河川・湖沼への直接流入による水質汚濁を防止した。</p>
-----------	---

<p>事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>区域内の森林は、森林所有者及び森林組合により、間伐等の適切な森林整備が実施されたため良好な管理状況にある。 林道は、上市町が定めた林道維持管理規程に基づき、適切に管理されており、年数回の草刈りや路面の整備が行われている。 ふるさと劔親自然公園等施設は、上市町が年間を通じて管理人を常駐させるなど適切に管理している。</p>
<p>事業実施による環境の変化</p>	<p>健全な状態の単層林や針広混交林が整備され、森林の景観が向上した。 林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮等により林業従事者の労働条件の改善が図られ、間伐が進むなど、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上している。 林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。 山菜採取やハイキング等に森林を利用する町内外の人々が増加し、市民の森林に対する理解が深化してきている。</p>
<p>社会経済情勢の変化</p>	<p>林道の整備により、労働強度の軽減や、高性能林業機械等の導入が可能となり、作業コストの低減による林業生産性の向上が図られるとともに、林業労働者が森林組合等で新規雇用されるなど、雇用の拡大が図られている。 ふるさと劔親自然公園には、森林浴など自然とのふれあいの場としてにぎわい、都市と山村の交流の促進が図られ、地域の活性化に繋がっている。</p>
<p>今後の課題等</p>	<p>森林整備に対する地元住民の意欲が増進されたものの、木材価格の低迷等により間伐等森林整備の実施が十分とは言えない状況となっている。森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を継続的に行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。 また、事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <p>・ 地元の意見： 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。森林公園と用排水設備の整備によって安心で安全な場所での憩いの場ができた。（富山県） 林道の整備により、森林への到達時間が短縮されたため、森林所有者の森林に対する意欲が向上し森林整備が有効に行われるようになった。森林公園と用排水施設の整備によって町外から訪れる人も増え地域の活性化に繋がった。（上市町）</p>
<p>評価結果</p>	<p>・ 必要性： 森林整備を効率的に行う基盤となる路網整備や、森林とのふれあい機会の提供などを通じた地域住民や都市住民との交流促進が求められていたことから、事業の必要性が認められる。</p> <p>・ 効率性： 現地に応じた工種・工法が採用されるとともに、事業実施にあたってコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。</p> <p>・ 有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上し、森林整備が促進されており、今後も一層の効果の発現が見込まれる。また、ふるさと劔親自然公園の整備により地域住民と都市住民との交流による地域の活性化にも貢献しており、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林居住環境整備事業

富山県

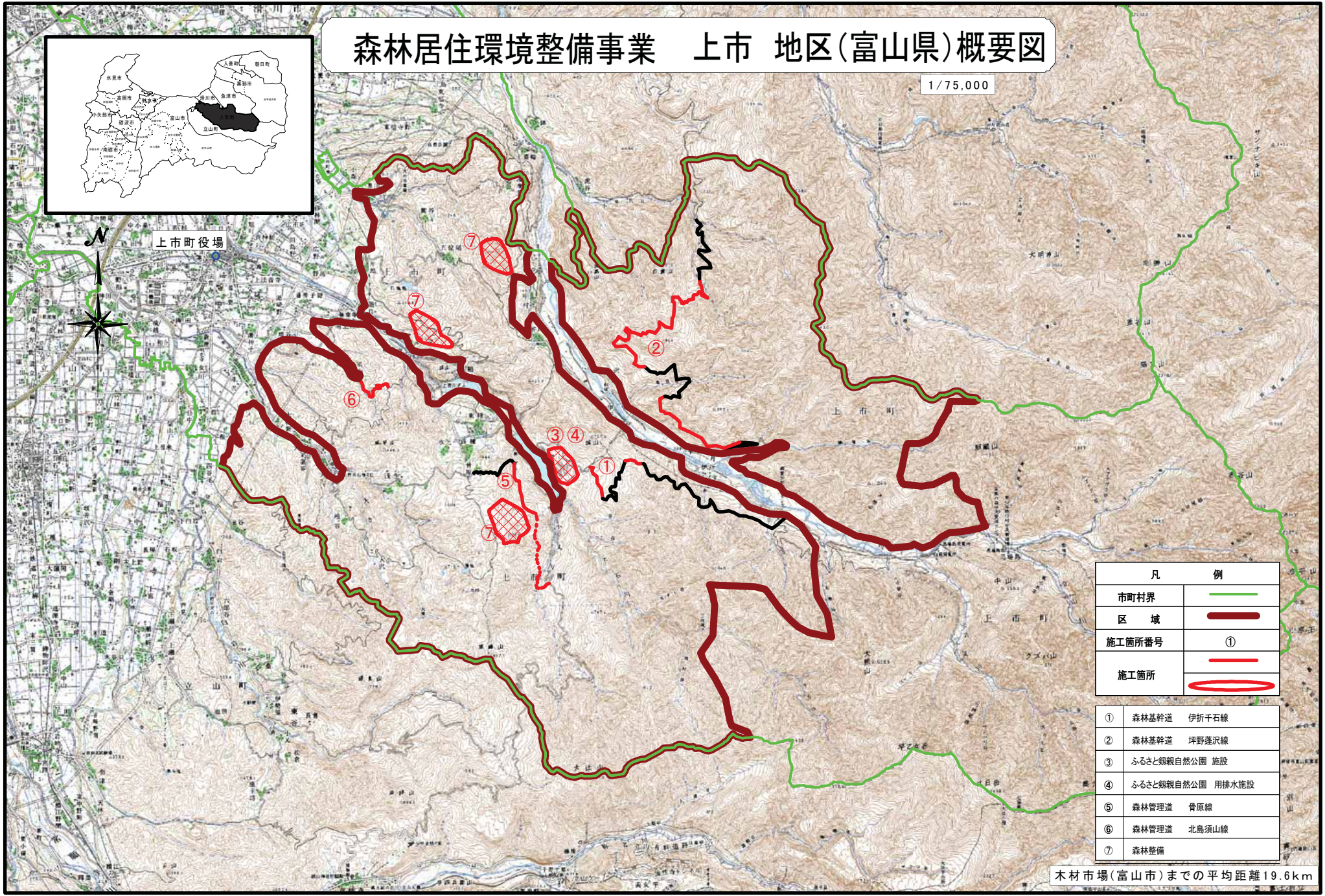
施行箇所: 上市

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,454,727	
	流域貯水便益	479,204	
	水質浄化便益	818,479	
山地保全便益	土砂流出防止便益	756,748	
	土砂崩壊防止便益	33,985	
環境保全便益	炭素固定便益	219,537	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	6,305	
	木材利用増進便益	502	
	木材生産確保・増進便益	603,396	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	494,088	
	治山経費縮減便益	61,849	
	森林管理等経費縮減便益	122,698	
	森林整備促進便益	266,273	
森林の総合利用便益	フォレストアメニティ施設利用便益	946,468	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	261,920	
維持管理経費縮減便益		2,640	
山村環境整備便益	生活用水確保便益	75,196	
	生活排水浄化便益	6,989	
総 便 益 (B)		6,611,004	
総 費 用 (C)		2,486,649	
費用便益比	$B \div C = \frac{6,611,004}{2,486,649} = 2.65$		

森林居住環境整備事業 上市 地区(富山県)概要図

1/75,000



凡	例
市町村界	
区 域	
施工箇所番号	①
施工箇所	

- ① 森林基幹道 伊折千石線
- ② 森林基幹道 坪野蓬沢線
- ③ ふるさと親親自然公園 施設
- ④ ふるさと親親自然公園 用排水施設
- ⑤ 森林管理道 骨原線
- ⑥ 森林管理道 北島須山線
- ⑦ 森林整備

木材市場(富山市)までの平均距離19.6km